



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年8月4日

上場会社名 日本システム技術株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4323 URL http://www.jast.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 平林 武昭
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 大門 紀章 TEL 06-4560-1000
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月7日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	3,219	15.0	△10	ー	5	ー	△2	ー
29年3月期第1四半期	2,799	10.7	△177	ー	△162	ー	△123	ー

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 10百万円 (ー%) 29年3月期第1四半期 △148百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	△0.55	ー
29年3月期第1四半期	△23.49	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	10,723	5,620	52.0	1,061.85
29年3月期	10,281	5,741	55.4	1,084.74

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 5,572百万円 29年3月期 5,692百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	ー	0.00	ー	25.00	25.00
30年3月期	ー				
30年3月期(予想)		0.00	ー	25.00	25.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,625	2.8	790	38.3	795	27.4	470	14.4	89.56

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

30年3月期1Q	5,612,230株	29年3月期	5,612,230株
30年3月期1Q	364,210株	29年3月期	364,210株
30年3月期1Q	5,248,020株	29年3月期1Q	5,248,020株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善傾向が続く中で各種政策の効果もあって、景気は緩やかな回復基調を維持しておりますが、米国や欧州の政治動向の影響や中国を始めとするアジア新興国の下振れ懸念、英国のEU離脱、相次ぐテロの発生など海外経済の不確実性が高まり、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

国内IT産業につきましては、直近の統計(経済産業省、特定サービス産業動態統計5月確報)において、平成28年度の売上高前年比が1.3%増(平成27年度の売上高前年比は2.6%増)とプラス傾向を継続しており、さらに単月においても平成28年8月度以降の売上高前年同月比が10ヶ月連続で増加を記録する等、業界全体として緩やかな拡大基調にあると認識しております。

このような環境下、当社グループ(当社及び連結子会社)の業績は、売上高32億19百万円(前年同期比15.0%増)、営業損失10百万円(前年同期は営業損失1億77百万円)、経常利益5百万円(前年同期は経常損失1億62百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失2百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失1億23百万円)と前年同期と比較して、売上高及び各利益指標が全て増加しており、堅調な業績状況となりました。なお、セグメント別の内訳は以下のとおりとなっております。

まず、ソフトウェア事業(受注ソフトウェアの個別受託開発)につきましては、サービス・流通業、製造業、通信業、金融・保険・証券業及び教育機関向け案件がそれぞれ増収となり、売上高23億93百万円(前年同期比22.9%増)、営業利益57百万円(前年同期は営業損失82百万円)と増収増益となりました。

次に、パッケージ事業(学校業務改革パッケージの開発・販売及び関連サービス)につきましては、仕入販売、運用サービス、大学向けPP(プログラム・プロダクト)販売及び導入支援が前年を下回った一方で、EUC(関連システムの個別受託開発)及び保守サービスが増収となり、売上高4億5百万円(前年同期比8.1%減)、営業損失31百万円(前年同期は営業損失40百万円)となりました。

次に、システム販売事業(IT機器の販売及び情報通信インフラの構築)につきましては、収益性の高い官公庁及び文教系SI(システム・インテグレーション)案件の増収により、売上高2億55百万円(前年同期比0.5%増)、営業損失7百万円(前年同期は営業損失20百万円)となりました。

最後に、医療ビッグデータ事業(医療情報データの点検、分析及び関連サービス)につきましては、自治体向けレセプト管理クラウドサービスの導入が堅調に推移し、売上高1億64百万円(前年同期比4.7%増)、営業損失29百万円(前年同期は営業損失32百万円)となりました。

(当社グループの四半期業績の特性)

当社グループの事業であるソフトウェア、パッケージ及びシステム販売の特性といたしましては、顧客の検収時期が多く企業の会計期末にあたる3月に大きく集中し、次いで第2四半期末に当たる9月に集中する傾向があります。したがって、例年当社グループの第1、第3四半期連結会計期間の収益は、第2、第4四半期連結会計期間と比較して相当に少額となる特色があります。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

まず、流動資産の残高は82億11百万円(前連結会計年度末比4億60百万円増)となりました。これは主として売掛金の回収、前受金の増加並びに短期借入の実行により現金及び預金が増加したためであります。また、固定資産の残高は25億12百万円(同17百万円減)となりました。

次に、流動負債の残高は36億60百万円(同5億82百万円増)となりました。これは主として前受金の増加、短期借入の実行並びに賞与引当金及び買掛金の減少の結果であります。また、固定負債の残高は14億42百万円(同19百万円減)となりました。

最後に、純資産の残高は56億20百万円(同1億20百万円減)となりました。これは主として利益配当金の支払によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」といいます。)の状況は、期首の資金残高19億51百万円より15億32百万円増加し、34億84百万円となりました。

なお、各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

まず、営業活動によるキャッシュ・フローは、14億25百万円の収入(前第1四半期連結累計期間は11億98百万円の収入)となりました。前年同四半期連結累計期間に比べキャッシュ・フローが2億26百万円増加した要因は、前受金及び税金等調整前四半期純利益の増加による収入が増加した一方で、たな卸資産の増加による支出が増加したこと等によるものであります。

次に、投資活動によるキャッシュ・フローは、4百万円の収入(同81百万円の収入)となりました。前年同四半期連結累計期間に比べキャッシュ・フローが76百万円減少した要因は、主として定期預金の解約による収入が減少した一方で、子会社株式の取得による支出が減少したこと等によるものであります。

最後に、財務活動によるキャッシュ・フローは、1億4百万円の収入(同1億52百万円の収入)となりました。前年同四半期連結累計期間に比べキャッシュ・フローが47百万円減少した要因は、主として短期借入の実行額の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績予想につきましては、平成29年5月12日に公表しました売上高146億25百万円(前連結会計年度比2.8%増)、営業利益7億90百万円(同38.3%増)、経常利益7億95百万円(同27.4%増)、親会社株主に帰属する当期純利益4億70百万円(同14.4%増)から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,365,633	3,898,502
受取手形及び売掛金	4,374,348	2,864,835
商品及び製品	86,509	147,873
仕掛品	505,244	835,915
原材料及び貯蔵品	3,317	3,197
繰延税金資産	270,257	344,014
その他	149,426	118,790
貸倒引当金	△3,858	△2,076
流動資産合計	7,750,879	8,211,051
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	669,615	669,615
減価償却累計額	△347,533	△356,146
建物及び構築物(純額)	322,081	313,468
土地	142,361	142,361
その他	375,955	380,708
減価償却累計額	△241,349	△252,610
その他(純額)	134,606	128,098
有形固定資産合計	599,049	583,928
無形固定資産		
のれん	40,491	36,227
ソフトウェア	109,996	99,688
その他	7,626	7,626
無形固定資産合計	158,114	143,542
投資その他の資産		
投資有価証券	625,020	657,938
退職給付に係る資産	479,037	483,723
繰延税金資産	76,560	65,892
差入保証金	376,763	371,550
その他	260,605	250,936
貸倒引当金	△44,649	△44,649
投資その他の資産合計	1,773,336	1,785,391
固定資産合計	2,530,500	2,512,862
資産合計	10,281,379	10,723,913

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,122,286	844,586
短期借入金	26,678	275,000
1年内返済予定の長期借入金	8,400	8,400
未払法人税等	281,537	87,442
賞与引当金	615,341	280,130
役員賞与引当金	29,174	6,968
工事損失引当金	1,561	-
その他	993,321	2,158,269
流動負債合計	3,078,301	3,660,798
固定負債		
長期借入金	28,000	25,900
役員退職慰労引当金	413,048	405,272
退職給付に係る負債	870,683	884,785
その他	150,188	126,630
固定負債合計	1,461,920	1,442,588
負債合計	4,540,222	5,103,387
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,076,669	1,076,669
資本剰余金	994,621	994,621
利益剰余金	3,740,158	3,606,058
自己株式	△266,539	△266,539
株主資本合計	5,544,909	5,410,809
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	85,686	108,442
為替換算調整勘定	△13,063	△18,020
退職給付に係る調整累計額	75,227	71,353
その他の包括利益累計額合計	147,850	161,775
非支配株主持分	48,396	47,941
純資産合計	5,741,157	5,620,526
負債純資産合計	10,281,379	10,723,913

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	2,799,786	3,219,208
売上原価	2,363,574	2,561,997
売上総利益	436,212	657,210
販売費及び一般管理費	614,203	667,551
営業損失(△)	△177,990	△10,340
営業外収益		
受取利息	3,195	2,811
受取配当金	2,754	2,777
受取賃貸料	3,559	3,373
為替差益	-	1,327
保険解約返戻金	-	5,226
その他	8,526	3,331
営業外収益合計	18,036	18,849
営業外費用		
支払利息	184	517
為替差損	547	-
賃貸費用	2,004	2,241
その他	144	332
営業外費用合計	2,880	3,091
経常利益又は経常損失(△)	△162,834	5,417
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△162,834	5,417
法人税等	△33,705	8,767
四半期純損失(△)	△129,128	△3,350
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△5,829	△450
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△123,299	△2,899

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純損失(△)	△129,128	△3,350
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11,344	22,755
為替換算調整勘定	△3,423	△4,962
退職給付に係る調整額	△4,655	△3,874
その他の包括利益合計	△19,424	13,919
四半期包括利益	△148,552	10,569
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△140,496	11,025
非支配株主に係る四半期包括利益	△8,056	△455

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△162,834	5,417
減価償却費	17,148	20,836
ソフトウェア償却費	9,380	10,591
のれん償却額	2,000	4,264
賞与引当金の増減額(△は減少)	△179,192	△335,114
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	19,420	14,063
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△4,204	△4,686
受取利息及び受取配当金	△5,950	△5,589
支払利息	184	517
売上債権の増減額(△は増加)	1,441,264	1,507,750
前受金の増減額(△は減少)	304,056	624,759
たな卸資産の増減額(△は増加)	△149,256	△391,929
仕入債務の増減額(△は減少)	△325,287	△277,661
その他	301,551	488,339
小計	1,268,280	1,661,559
利息及び配当金の受取額	6,203	5,929
利息の支払額	△300	△466
法人税等の支払額	△75,999	△241,891
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,198,184	1,425,131
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	115,983	△6
有形固定資産の取得による支出	△5,486	△4,189
ソフトウェアの取得による支出	△1,375	△16,060
投資有価証券の取得による支出	△368	△448
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△26,827	-
保険積立金の解約による収入	-	12,275
差入保証金の回収による収入	-	11,870
差入保証金の差入による支出	△301	△723
その他	△54	1,986
投資活動によるキャッシュ・フロー	81,570	4,703
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	294,628	248,595
リース債務の返済による支出	△9,966	△10,772
長期借入金の返済による支出	-	△2,100
配当金の支払額	△131,200	△131,200
非支配株主への配当金の支払額	△1,164	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	152,296	104,522
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,286	△1,658
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,433,337	1,532,698
現金及び現金同等物の期首残高	1,447,493	1,951,458
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,880,830	3,484,157

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	ソフトウェア 事業	パッケージ 事業	システム 販売事業	医療ビッグ データ事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
1. 外部顧客への売上高	1,947,080	440,964	254,238	157,503	2,799,786	—	2,799,786
2. セグメント間の内部 売上高又は振替高	19,522	—	9,958	—	29,480	△29,480	—
計	1,966,602	440,964	264,196	157,503	2,829,266	△29,480	2,799,786
セグメント利益 又は損失(△)	△82,884	△40,835	△20,073	△32,750	△176,544	△1,446	△177,990

(注) 1. 調整額のセグメント利益又は損失は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント損失は四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

ソフトウェア事業において、当第1四半期連結会計期間に株式会社アイエスアールの株式を取得し、連結子会社としております。当該事象によるのれんの発生額は45,284千円であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	ソフトウェア 事業	パッケージ 事業	システム 販売事業	医療ビッグ データ事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
1. 外部顧客への売上高	2,393,713	405,160	255,491	164,842	3,219,208	—	3,219,208
2. セグメント間の内部 売上高又は振替高	16,630	—	3,885	—	20,515	△20,515	—
計	2,410,343	405,160	259,376	164,842	3,239,723	△20,515	3,219,208
セグメント利益 又は損失(△)	57,184	△31,959	△7,420	△29,954	△12,150	1,809	△10,340

(注) 1. 調整額のセグメント利益又は損失は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント損失は四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。